

実践教育訓練学会

第9回建築設計競技

1. テーマ 「AI 住宅」

昨今、AI（人工知能）が世間を席卷するようになった。コンピュータは単なる計算機を超え、膨大なデータから自ら最適解を導き出し、予測・提案を行う「知性」へと進化している。今後は、学習して積み重ねた能力により、さらに精度よく高次元な提案を導き出すことができるようになると予想される。音声や画像の認識、生成 AI による創作の自動化は、私たちの生活のあり方を根底から変えようとしている。かつての建築における 3D-CAD や CG などのデジタル技術、そして昨今普及してきている BIM 技術は、効率化のための「道具」に過ぎない。しかし今、AI は私たちの思考を先回りし、住まい手の変化を読み取り、空間を更新し続ける「設計主体」へと変容しつつある。

これまで、人は希望に沿った住宅をつくり、家族や周辺環境が変化してもその住宅に合わせて生活を営んできた。しかし AI 時代において、住宅は「人の生活を学習し、提案する能動的な存在」へと移行することが考えられる。それは、住人の健康状態や感情を察知し、形態や環境をリアルタイムに変化させる建築かもしれない。あるいは、都市や周辺地域のインフラと同期し、住人の気づかないレベルで最適化され続ける空間かもしれない。

一方で、私たちが直視すべき課題もある。AI による過度な最適化は、人間の身体感覚を退化させ、偶然性や「無駄」という豊かさを奪う可能性もあるのではないか。人口減少、地方の過疎化、高齢化、建設担い手の不足、そしてサステナビリティ、こうした山積する社会課題に対し、AI は魔法の杖となるのか、あるいは新たな疎外を生むのか考える必要がある。

本設計競技では、AI を単なる「便利な設備」として導入した住宅ではなく、AI が介在することで初めて可能になる未来の住宅の在り方を提案して欲しい。AI がもたらす「快適さ」のその先で、人間はどのような感情を抱き、どのような家族の形を築くのか、AI という新しいパートナーと共に生きるために、AI が提案する最適解だけを鵜呑みにすることなく、さらなる創造的な提案を期待する。

(審査委員長：和田 浩一)

2. 審査委員

審査委員長

和田 浩一 職業能力開発総合大学校 能力開発院 教授

審査委員 (50 音順)

磯野 重浩 (熊本職業能力開発促進センター)

江川 嘉幸 (山形県立産業技術短期大学校 建築環境システム科 教授)

星野 政博 (東北職業能力開発大学校 住居環境科 特任教授)

他 各社 7 名程度 (後日、公開します。)

3. 表彰

1等 実践教育建築デザイン賞
副賞 QUOカード

2等 協賛企業賞

協賛企業 各社様名で設定し、賞状と副賞を贈呈

※各入賞者には、北海道大会（北海道職業能力開発大学校）で行われる2026実践教育研究発表会（以下、発表会）において表彰し、発表会でプレゼンテーションをして頂きます。入賞作品ごとに1名の旅費を支給します。

優秀作品 20点程度を選抜し、発表会において展示します。

2026 実践教育研究発表会開催概要

開催日：2026年8月21日（金）～22日（土）

会場：北海道職業能力開発大学校

（北海道小樽市銭函3丁目190番地）

（プレゼンテーション・表彰日：8月21日（金）午後）

4. スケジュール

WEBエントリー 2026年3月1日（火）～5月29日（金）

実践教育訓練学会のHP

<http://www.jissen.or.jp/>

第9回建築設計競技エントリーフォーム

<https://forms.gle/4NpZPH79KfYp1bCG7>



エントリー時に必要な情報

返信が受け取れるメールアドレス（受信制限を解除してください）、応募者（グループで応募する場合は代表者）の住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、学校（施設）名、使用ソフト（2等のメガソフト株式会社賞の要件となるため）

作品締め切り 2025年6月1日（月）（PDFの電子投稿）

作品提出先

(1) jissen.compe@gmail.com （25MB以下）

(2) 無料大容量ファイル転送サービスを使って上記アドレスに送付することも可能。

結果発表 2025年6月末

(一社)実践教育訓練学会のHPで発表すると同時に、入賞者にはメールにてお知らせします。

5. 応募資格 (2026年4月1日現在)

一般大学・大学院学生

高等専門学校学生

職業能力開発関係施設で学ぶ学生・受講生

専門学校学生

工業高校生徒

※1グループ 4人以内

6. 審査

審査は、審査委員による作品評価を行います。公開審査は行いません。

7. 提出図面

A1版 横使い 1枚 (25MB以下) 各図面の縮尺は自由

8. 作品条件

(1) 敷地面積：200㎡以下

(2) 最高高さ：12m以下

(3) 建ぺい率の制限：60% 容積率の制限：150%

(地階・駐車場の容積率の緩和を使っても良い)

(敷地面積、建ぺい率、容積率、最高高さについては、作品の中に明記すること)

(4) 用途地域や斜線制限などの建築法規は考慮しなくても良い

(5) 敷地のロケーションは、具体的にイメージできる場所を自由に設定する

(6) 建物の構造は、自由

9. 質疑応答

課題に関する質疑応答は行いません。本要項に定める内容以外は、応募者の自由とします。

10. 注意事項

- ・応募作品は未発表のものに限ります。
- ・同一作品の他設計競技との二重応募は、受け付けません。
- ・事前にWEBエントリーフォームから登録を行ってください。
- ・応募作品の一部あるいは全部が、他者の著作権を侵害してはなりません。また、雑誌や書籍、ウェブサイトなどの著作物を許可なく使用してはなりません。
- ・著作権侵害のおそれがある場合は主催者の判断により入賞を取り消すことがあります。
- ・応募作品(PDF)は返却しません。
- ・本設計競技の応募作品に関する著作権は応募者に帰属します。応募作品の(一社)実践教

育訓練学会 HP やジャーナル掲載、協賛企業 HP へのリンクなど、発表に関わる権利は主催者及び協賛企業が保有します。

- ・本設計競技において取得した個人情報は、主催者と協賛者が共有します。本設計競技の運営以外には使用いたしません。また、第三者に譲渡や転売はいたしません。

11. 協賛企業（50 音順）

昨年は、7 社（決定次第、公開します。）

12. 建築設計競技事務局

（一社）実践教育訓練学会

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13

ユニゾ小石川アーバンビル 3F 学会支援機構内

TEL 03-5981-6011